

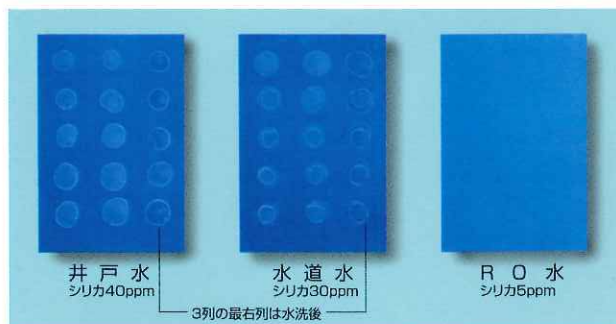
ご提案

洗浄機による車両を洗浄する場合、洗浄を繰り返していると車両の窓ガラスに「シリカ」が融着して、水滴状に固着したり、ひどい場合はくもりガラスのようになり、ガラスの表面を研磨しないと除去できない状態になる事例がよく見受けられます。**(鱗状汚損)**

これは、洗浄用水が井戸水、工業用水、水道水を問わず含有シリカ成分が10ppmを超えた場合に起ることが多いといわれています。

この鱗状汚損の防止には洗浄用水の水質改善が必要で、シリカ除去の方法として「逆浸透膜法」があります。

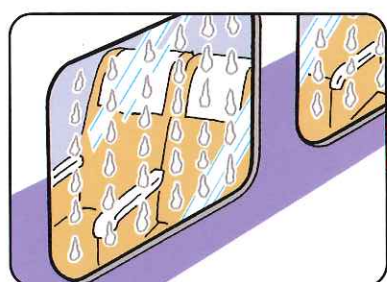
この逆浸透膜法による水質改善は、薬品類を使用しない物理的純水化装置によるもので、環境・排水に対する悪影響が無い安全な手段であります。従って当社ではこの「逆浸透膜法」による「シリカ除去システム」を窓ガラスのシリカによる汚れ防止及び洗浄後の車体への水垢付着防止対策としてご提案させていただきます。



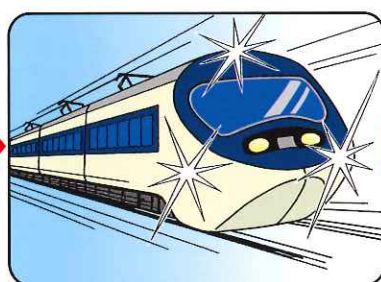
●ガラステストにおける効果の比較●



●RO水使用第一号●



シリカ融着の鱗状汚損



○逆浸透膜法
RO方式によるシリカ除去システム



型 式	製 水 能 力	
USM 1000	0.75 m ³ /時	6~15 m ³ /日
USM 2000	1.50 m ³ /時	12~30 m ³ /日
USM 3000	2.25 m ³ /時	15~45 m ³ /日

※原水・水道水の水温15℃の能力です。



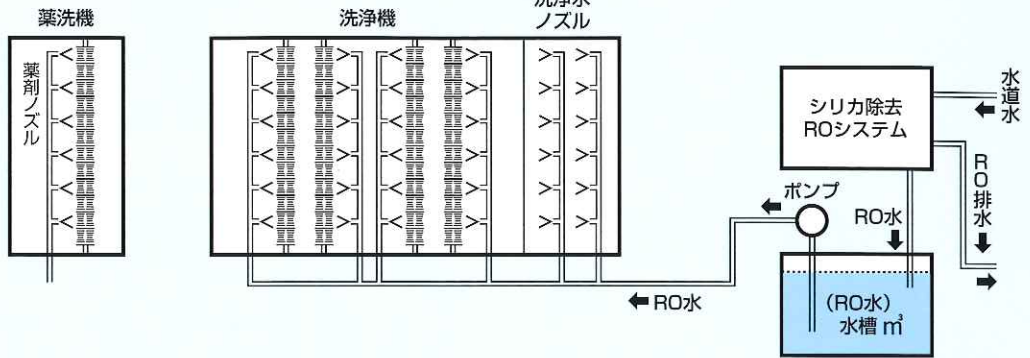
※設置例



※設置例

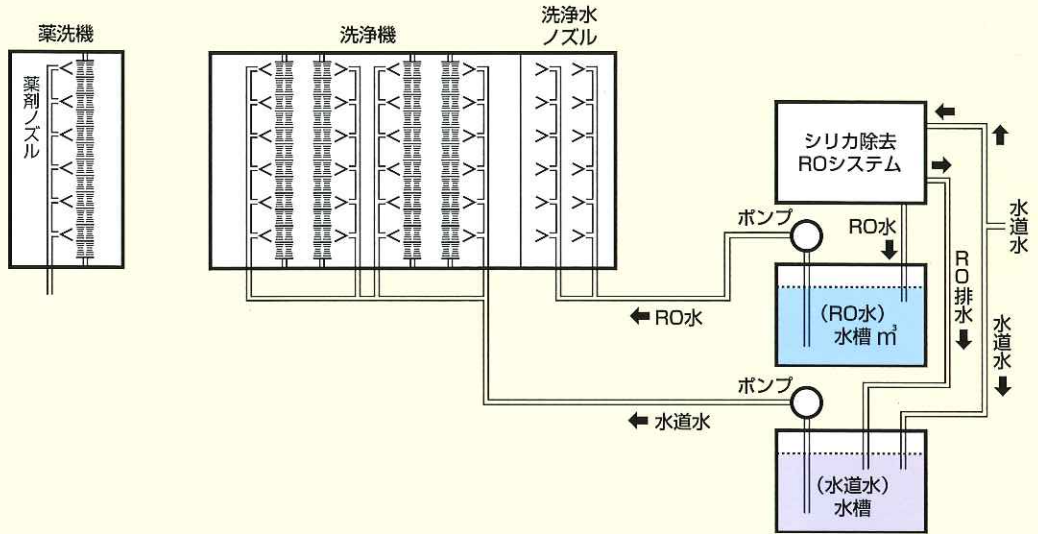
第一案

洗浄機に使用する水をRO水に切り替え洗浄する!



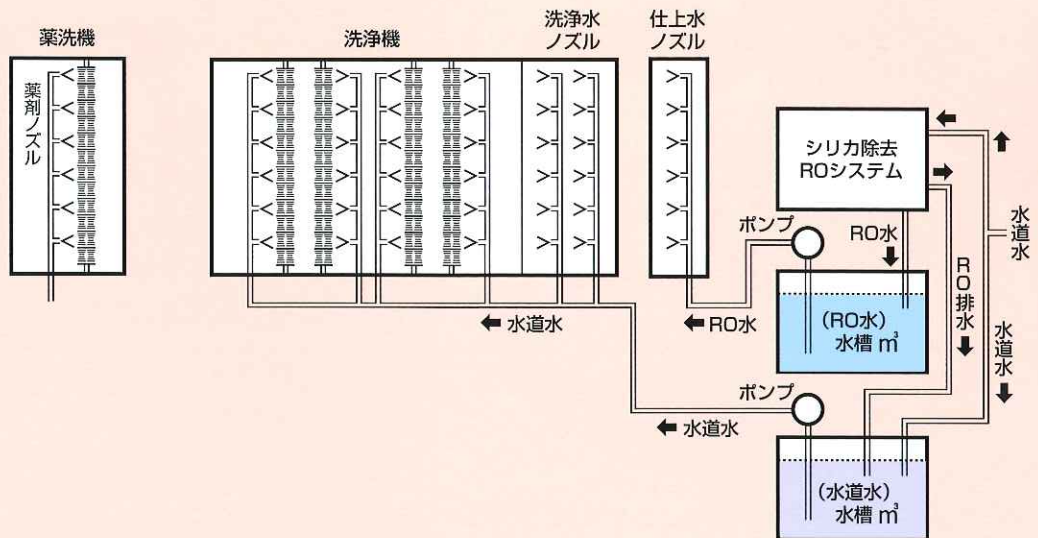
第二案

洗浄水ノズルをRO水に切り替え噴射洗浄する!



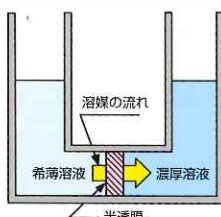
第三案

仕上水ノズルを増設しRO水を噴射洗浄する!



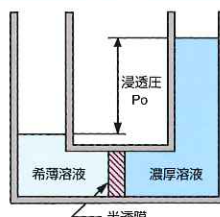
逆浸透の原理

浸透とは?



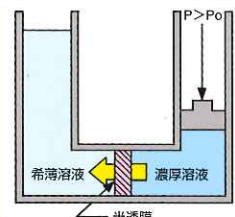
半透明で仕切られた槽の一方に希薄溶液を、また他方に濃厚溶液を入れたとき、両溶液が平衡に達しようと希薄溶液側の溶媒が、濃厚溶液側に移動する現象を「浸透」と呼びます。

浸透圧とは?



浸透が平衡に達したとき、両液間に生じる圧力差を「浸透圧」と呼びます。

逆浸透とは?



一方、濃厚溶液側に浸透圧より大きい圧力をかけると、浸透現象とは逆に溶媒が濃厚溶液側から希薄溶液側に移動します。この現象を「逆浸透」(Reverse Osmosis:略してR.O.)と呼びます。